

2024年度版

環境経営レポート

活動期間 (2024年5月1日～2025年4月30日)



®

エコアクション21
認証番号 0014321



株式会社

土佐製作

発行日： 2025年5月29日

1.目次

1. 組織概要		2項
2. 環境経営方針		3項
3. 実施体制		4項
4. 環境経営目標		5項
5. 環境経営計画		11項
6. 環境目標とそれに向けた取り組み 実績評価と次年度の取組について		12項
7. 次の取組の環境経営目標及び環境経営計画	...	14項
8. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び 評価の結果並び違反訴訟などの有無	...	15項
9. 代表者による全体評価と見直しの結果		16項

2. 組織概要

会社概要

事業所名	株式会社 土佐製作
代表者	代表取締役社長 土佐雄一
所在地	本社 神奈川県川崎市幸区塚越3-380 秋田工場 秋田県秋田市川尻町字大川反170-25
事業の規模	総従業員数:52名 延べ床面積:計3,068.17 (本社:114.8㎡、工場:2,953.37㎡)
資本金	1500万円
事業内容	金属部品の機械加工
環境管理責任者	環境管理責任者:工場長 TEL:018-862-3811 FAX:018-864-1892
事務局担当者	製造部副部長 TEL:018-862-3811 FAX:018-864-1892
対象範囲	土佐製作秋田工場 *2028年までに本社拡大の予定
レポート期間	対象期間:2024年5月1日～2025年4月30日 発行日:2025年5月30日

3. 環境経営方針

環境経営方針

私たち株式会社土佐製作は、世界中のインフラ整備、発展の為に尽力して参りました。この豊かな自然を後世に伝えていく為に環境問題への対応が喫緊の課題であるという認識を持ち、当事業部の事情活動のあらゆる分野で社会に貢献することを目指しています。当事業活動においては、社員が次世代に技術・技能を引き継げるように、職場・工場現場の環境整備に努めます。生物多様性の考慮、環境関連法規の遵守により環境負荷の低減を図りつつ、環境保護活動の継続的改善に努めます。SDGsに則り「環境保護と経済活動の両立」する持続可能な社会の実現に全社一丸となって自主的、積極的に取り組む事を誓約します。

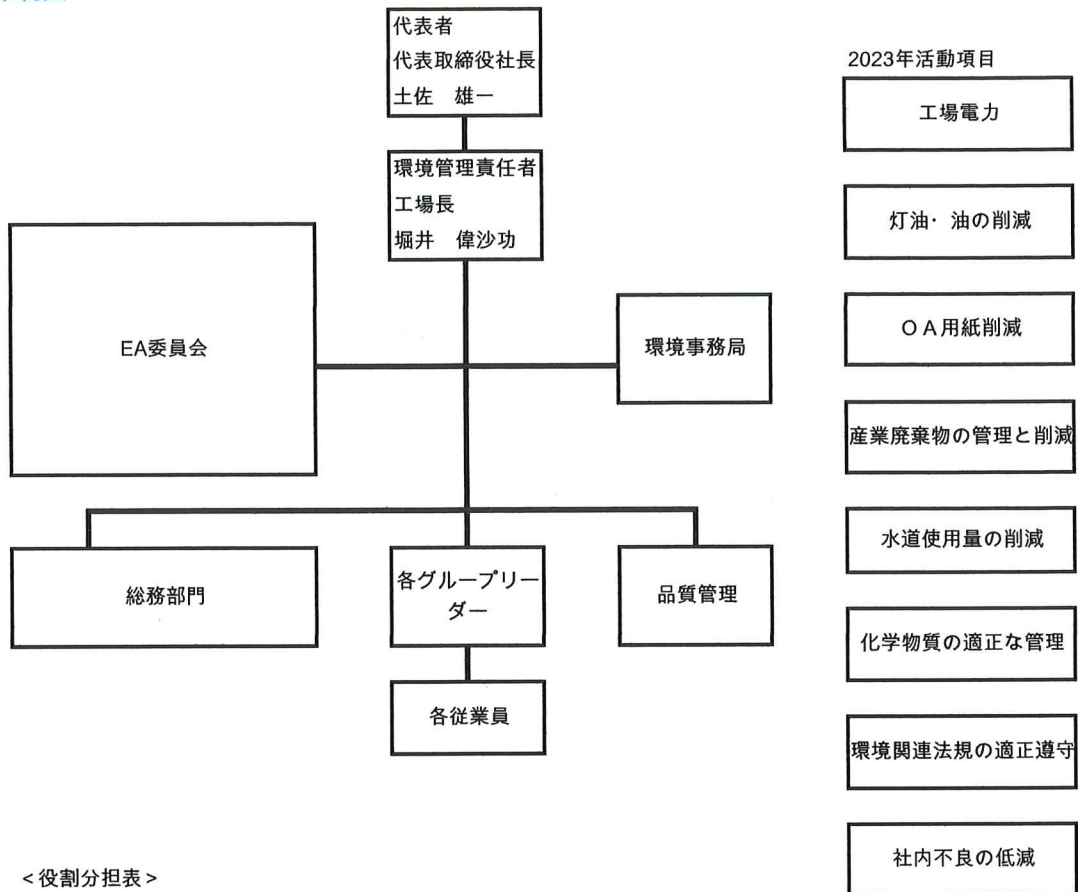
環境への行動方針

1. 低炭素社会実現の為に、二酸化炭素排出削減に取り組みます
2. 産業廃棄物のリサイクルを推進し、廃棄物削減に取り組みます
3. 水使用量と排水量の適正な管理に取り組みます
4. 化学物質の適正な管理と処理に取り組みます
5. 現場において製造資材等のグリーン購入に取り組みます
6. 現場運営において環境に配慮した省エネ運転に取り組みます
7. 社内不良の削減に努めます
8. 環境関連法規、その他の要求事項の遵守に取り組みます
9. 環境保全に関する啓蒙・啓発活動を行い、地域清掃活動などで地域社会貢献に努めます
10. 以上の方針を全従業員に周知させ全員参加で取り組みます。

令和6年9月20日
株式会社土佐製作
代表取締役 土佐 雄一

4.環境経営計画に基づき実施した取組内容(実施体制を含む)
実施体制図

2023/7/12 土佐 雄一



< 役割分担表 >

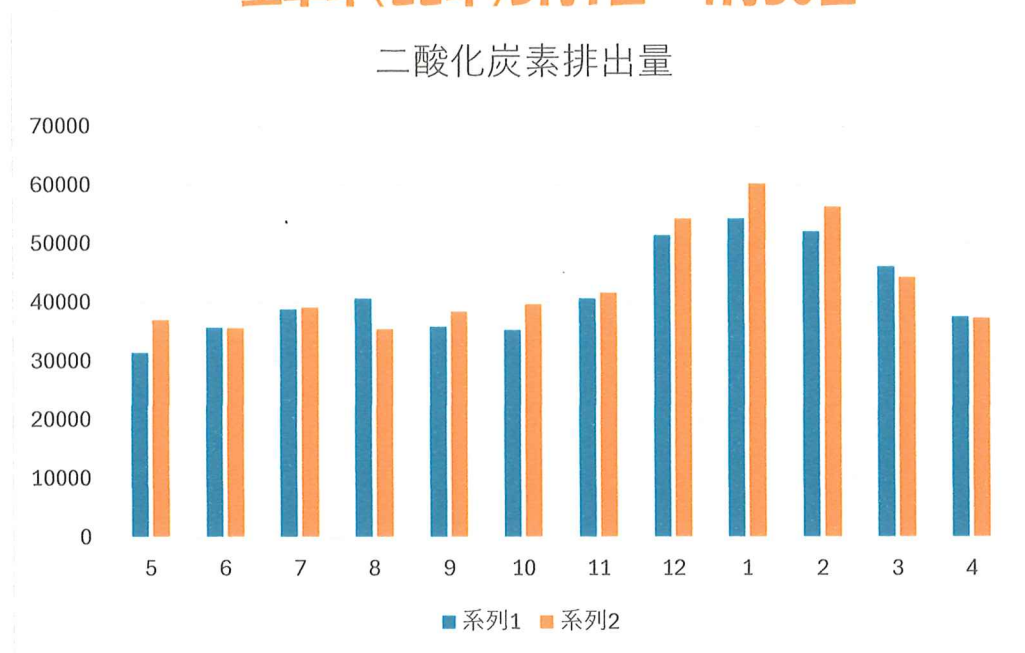
担当	各自の責任と役割
代表者	・ 総括（環境経営システム・緊急事態発生時等） ・ 課題とチャンスの明確化 ・ 環境経営方針の策定 ・ 実施体制を構築する ・ 経営資源の準備 ・ 全体の評価と見直し・指示
環境管理責任者	・ 環境経営システムの構築・実施・維持管理 ・ 環境関連法規等の取りまとめ表の承認 ・ 環境目標・環境活動計画書の確認 ・ 環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・ 環境活動レポートの確認
環境事務局	・ 環境管理責任者の補佐 ・ 環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・ 環境目標・環境活動計画原案の作成 ・ 環境活動の取組結果を代表者へ報告実績集計 ・ 環境関連法規等の取りまとめ表の作成 ・ 環境関連法規等の取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・ 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・ 環境活動レポートの作成及び公開 ・ 緊急事態への対応のための手順書作成、テスト・訓練の実施、記録の作成
EA委員会	・ 環境事務局の補佐 ・ 自部門における環境方針の周知 ・ 自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・ 委員会で策定した環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・ 自部門の問題点の発見、是正、予防措置の実施
全従業員	・ 環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚 ・ 決められた事を守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

5.環境経営目標

項目	単位（年間量）	基準年	基準年度内	目標	目標	目標
		2022年度	2022年（11月～4月）	2023年（11月～4月）	2024年度	2025年度
二酸化炭素排出量	k g -CO ₂	519,189	582,862	581,123	508,805	503,613
		100%	100%	100%	(98%目標)	(97%目標)
電気使用量	k w h	1,029,555	576,504	576,395	1,008,964	998,668
		100%	100%	100%	(98%目標)	(97%目標)
ガソリン使用量	L	4,734	2,384	1,594	4,639	4,592
		100%	100%	67%	(98%目標)	(97%目標)
灯油使用量	L	3,751	3,564	2,782	3,676	3,638
		100%	100%	78%	(98%目標)	(97%目標)
軽油使用料	L	442	298	255	433	429
		100%	100%	86%	(98%目標)	(97%目標)
都市ガス使用量	m ³	209	112	97	205	203
		100%	100%	87%	(98%目標)	(97%目標)
産業廃棄物	k g	74,670	33,500	35,920	73,177	72,430
		100%	100%	107%	(98%目標)	(97%目標)
一般廃棄物	k g	(1,780)	(890)	842	1,762	1,744
		100%	100%	0%	(99%目標)	(98%目標)
水使用量	m ³	695	404	264	681	674
		100%	100%	65%	(98%目標)	(97%目標)
社内不良削減	件数	120	60	71	108	102
		100%	100%	118%	(90%目標)	(85%目標)

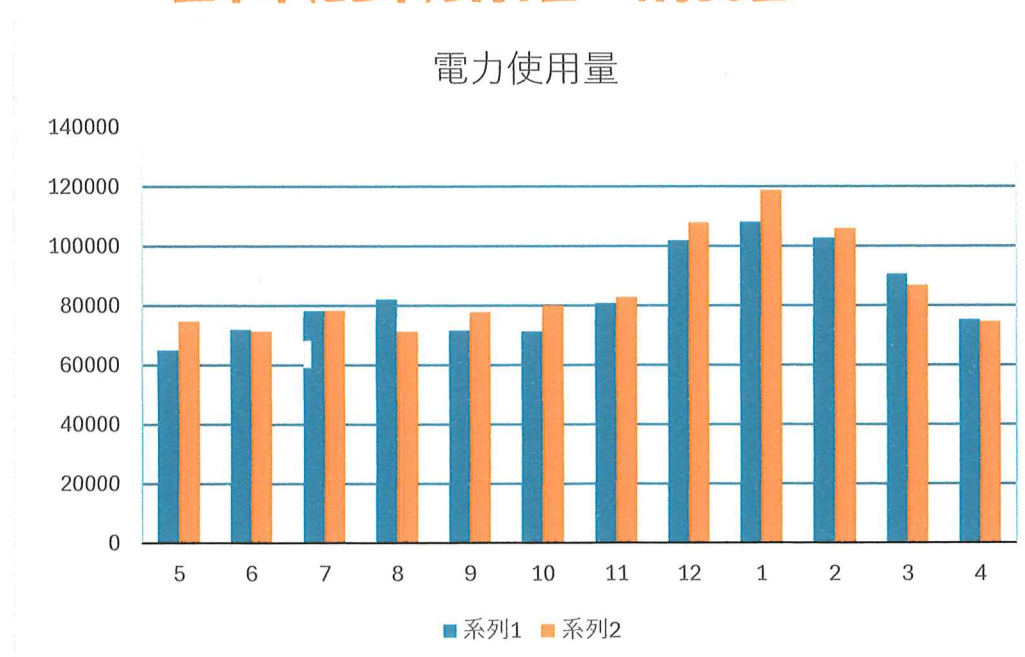
※2022年度は一般廃棄物のデータがなく、2023年を基準としそこから毎年1%削減目標

*** 二酸化炭素の排出量24年5月1日～25年4月30日**
基準年(22年)5月1日～4月30日



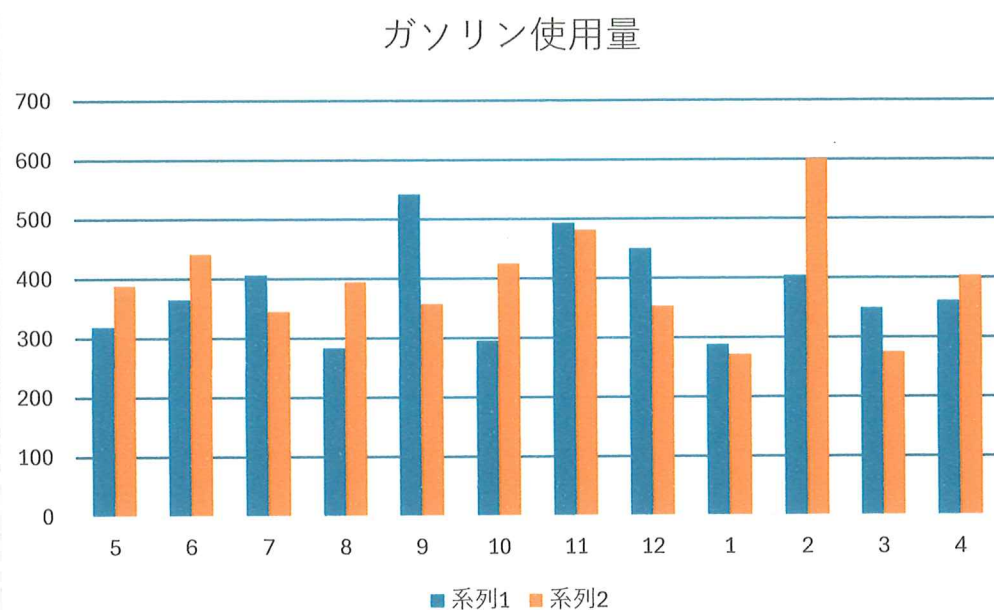
基準年22年度(5月1日～4月30日)より24年度(5月1日～4月30日)に
 比ベ96833kgCO2の削減になりました。

*** 電力使用量24年5月1日～25年4月30日**
基準年(22年)5月1日～4月30日



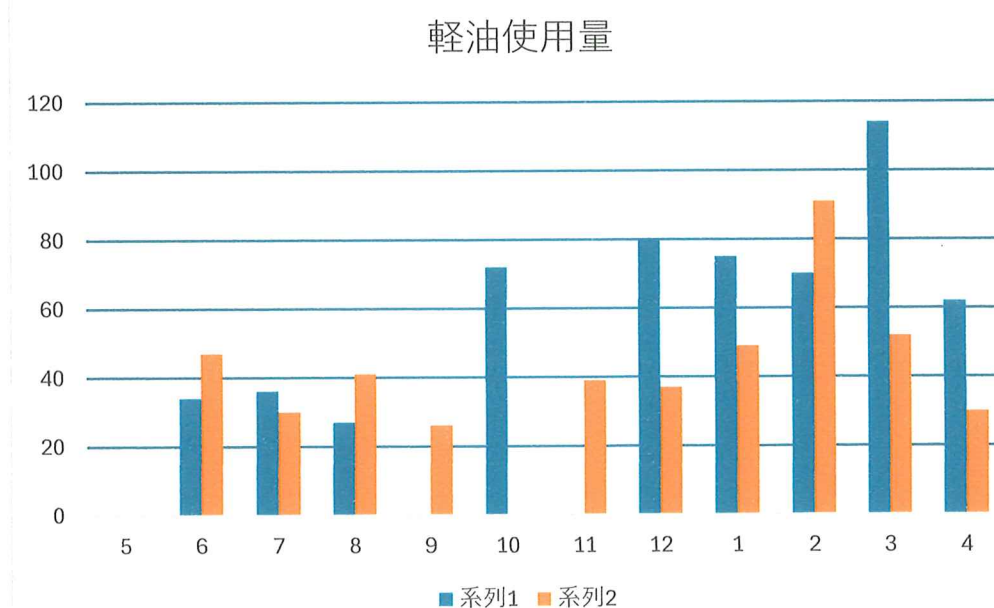
基準年22年度(5月1日～4月30日)より24年度(5月1日～4月30日)に
 比ベ30892kwhの削減になりました。

*** ガソリン使用量24年5月1日～25年4月30日**
基準年(22年)5月1日～4月30日



基準年22年度(5月1日～4月30日)より24年度(5月1日～4月30日)に
 比べ161Lの削減となりました。

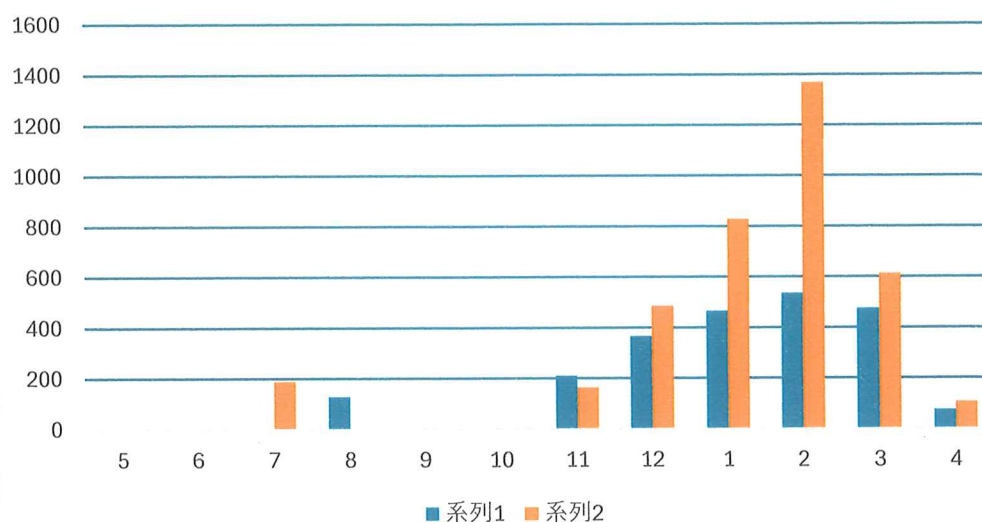
*** 軽油使用量24年5月1日～25年4月30日**
基準年(22年)5月1日～4月30日



基準年22年度(5月1日～4月30日)より24年度(5月1日～4月30日)に
 比べ128Lの増加となりました。

*** 灯油使用量24年5月1日~25年4月30日**
基準年(22年)5月1日~4月30日

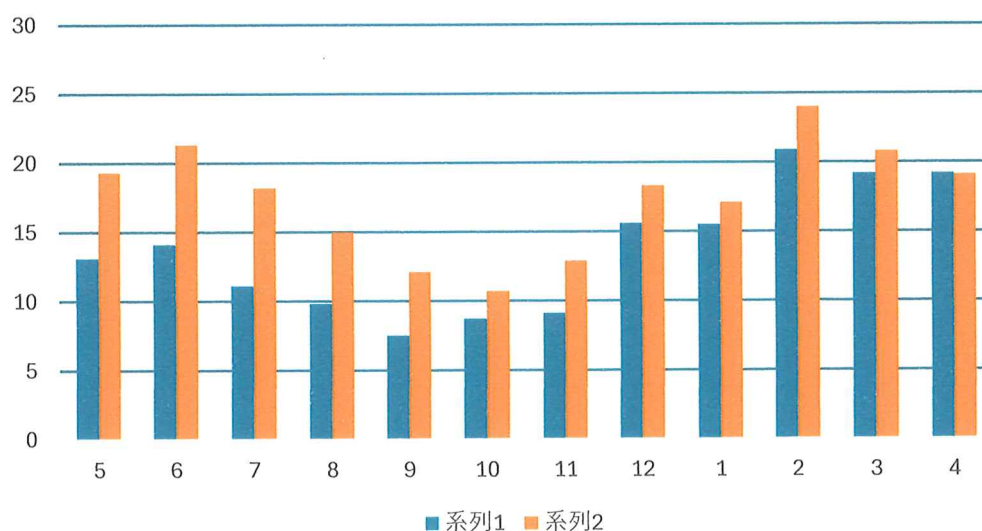
灯油使用量



基準年22年度(5月1日~4月30日)より24年度(5月1日~4月30日)に
 比ベ1499Lの削減となりました。

*** 都市ガス使用量24年5月1日~25年4月30日**
基準年(22年)5月1日~4月30日

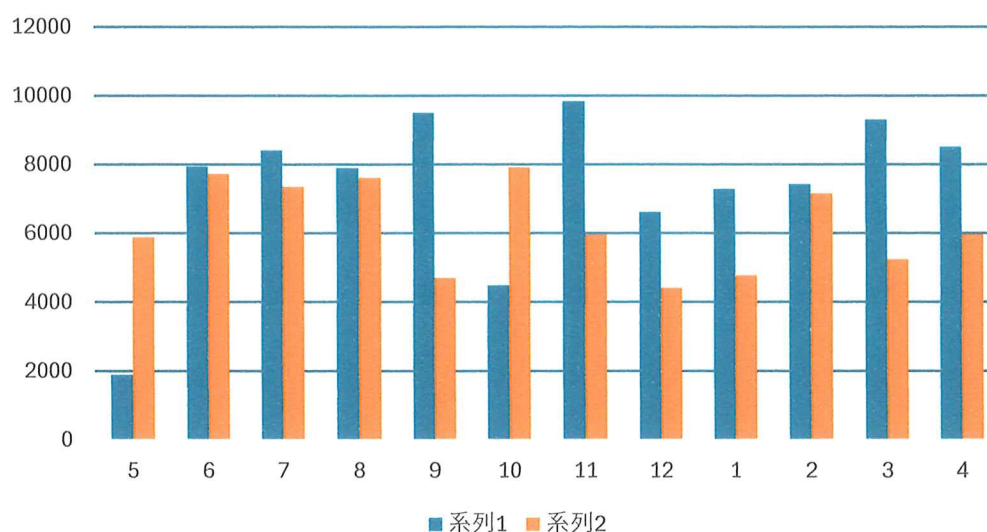
都市ガス使用量



基準年22年度(5月1日~4月30日)より24年度(5月1日~4月30日)に
 比ベ45m³の削減となりました。

*** 産業廃棄物量24年5月1日～25年4月30日**
基準年(22年)5月1日～4月30日

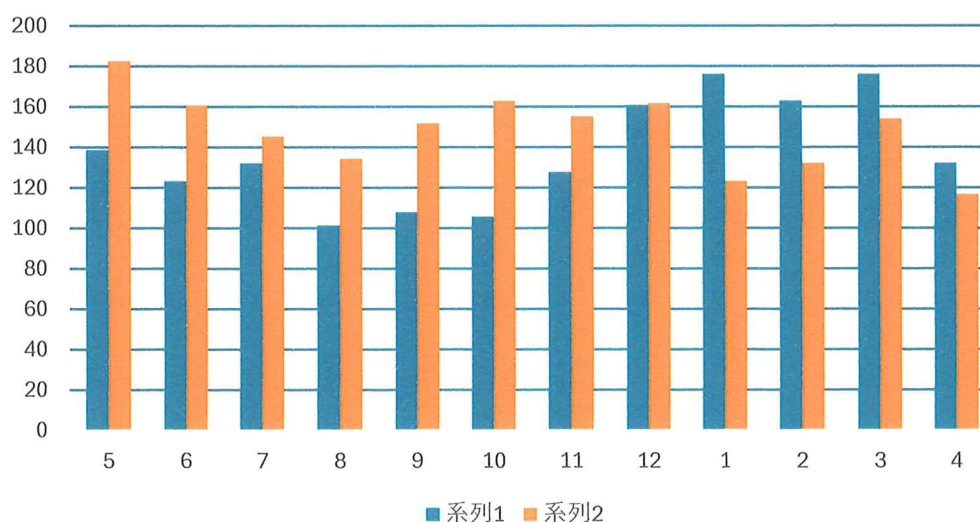
産業廃棄物量



基準年22年度(5月1日～4月30日)より24年度(5月1日～4月30)に比べ2420Lの増加となりました。

*** 一般廃棄物量24年5月1日～25年4月30日**
基準年(23年)5月1日～4月30日

一般廃棄物量

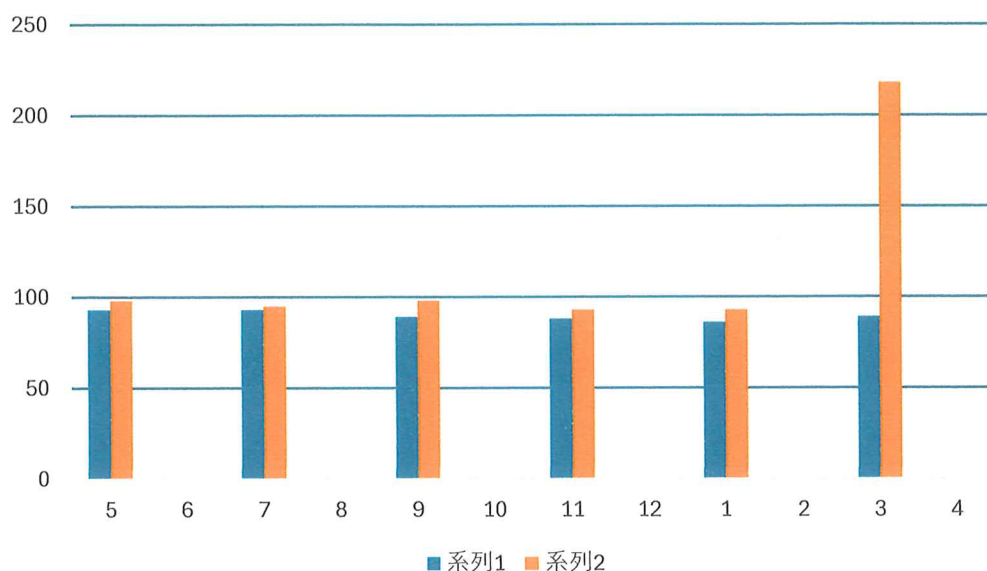


22年度データ無し(23年度平均値にて掲載)

基準年23年度(5月1日～4月30日)より24年度(5月1日～4月30)に比べ137Lの削減となりました。

*** 水道使用量24年5月1日～25年4月30日**
基準年(22年)5月1日～4月30日

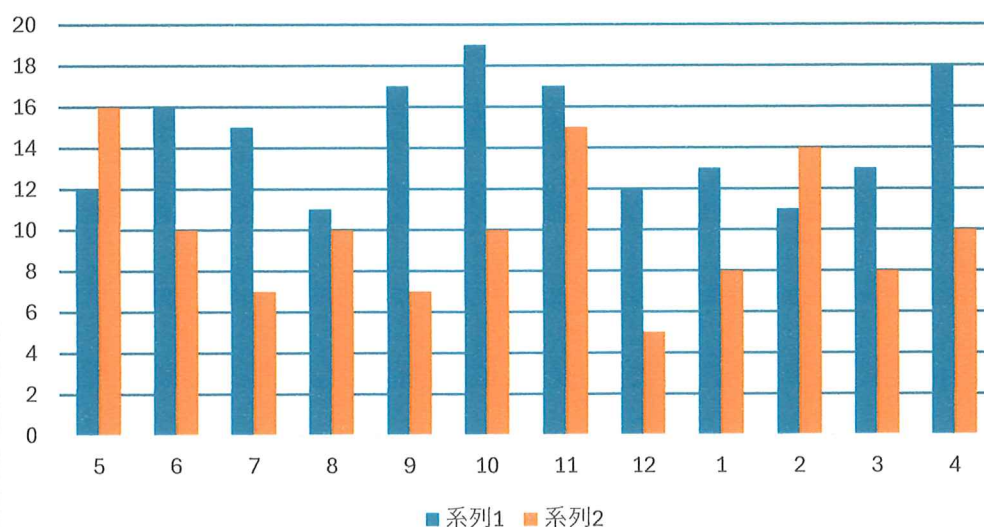
水道使用量



基準年22年度(5月1日～4月30日)より24年度(5月1日～4月30日)に
 比べ157Lの削減となりました。

*** 社内不良数24年5月1日～25年4月30日**
基準年(22年)5月1日～4月30日

社内不良件数



基準年22年度(5月1日～4月30日)より24年度(5月1日～4月30日)に
 比べ54件増加となりました。

6.環境経営計画

環境経営レポート

	項目	実績事項	単位	基準※ 2022年	目標	実績	状況
						達成率※	
1	二酸化炭素排出量の削減	・以下電力、灯油・ガソリン・軽油・都市ガスの使用量の削減に努める	kg-CO2	519,187 100%	508,805 98%	500,353 102%	◎
2	電力の使用量の削減 調整後排出係数 0.483kg-CO2/kwh 東北電力2022年度	・エアリー漏れの対応作業 ・減圧作業 ・昼休憩時のコンプレッサーの電源OFF ・PCの電源の省エネ	k w h	1,029,555 100%	1,008,964 98%	998,663 101%	◎
3	灯油・ガソリン・軽油・都市ガスの使用量の削減	・エコドライブの導入 ・暖房器具を適切に使う	L	ガソリン 4,734 100%	ガソリン 4,639 98%	ガソリン 4,555 102%	◎
			L	灯油 3,751 100%	灯油 3,676 98%	灯油 2,252 163%	◎
			L	軽油 442 100%	軽油 433 98%	軽油 570 76%	×
			m3	都市ガス 209 100%	都市ガス 205 98%	都市ガス 164 125%	◎
4	OA用紙購入使用料の削減	・書類の簡素化 ・電子化の推進			行動目標	行動目標	行動目標
5	廃棄物の削減及びリサイクル向上	・産廃のルール作り ・産廃として分別する種類を増やす	kg	74,670 100%	73,177 98%	89,040 82%	×
6	一般廃棄物の削減	・分別の協力	kg	1,780 100%	1,744 98%	1,643 100%	◎
7	水道使用量の削減	・冬の融雪用の水使用の廃止 ・水漏れを水道メーターにて確認	m ³	695 100%	681 98%	538 133%	◎
8	社内不良の削減	・積極的に予防活動を重視した取り組み ・測定具・工具の管理意識の向上 ・支給材についての品質意識の向上	件数	120 100%	108 90%	174 55%	×
9	サステナブル調達 の促進 推進行動	・リサイクル材 ・材料・メタル材等の廃棄及び取り 代の見直し			実施	実施	
10	化学物質の管理 化学物質の適正管理	・シナー等の有害性の高い化学物質の 使用場所・保管場所の管理			適正	適正	

※達成率＝目標値/実績値 100%以上◎ 100%～90%○ 90%～80%△ 80%以下×

※基準年は2022年5月1日～2023年4月30日とする。一般廃棄物22年度データ無し(23年度平均値にて掲載)

7. 環境目標とそれに向けた取り組み、実績評価と次年度の取り組みについて

1 電力のCO2削減への取り組み



1-1 工場内の温度変化を抑える為、秋田第1工場の壁を断熱材入りに施工しました。

これにより、エアコンの電力使用量削減についてはCO2削減に貢献

1-2 各工場に設置してあるコンプレッサーの圧力上限を下げ電力削減実施しております。

②エコドライブの継続



エコドライブ10のすすめ

1 自分の燃費を把握しよう

燃費 ? km/L



3 車間距離にゆとりをもって、加速・減速の少ない運転

ゆとり



2 ふんわりアクセル「eスタート」



4 減速時は早めにアクセルを離そう





5 エアコンの使用は適切に



あついているとき窓を開けると涼しい。エアコンは必要に限り使おう

8 タイヤの空気圧から始める点検・整備



タイヤの空気圧は1ヶ月で1.0〜1.5センチ減圧傾向があります

6 ムダなアイドリングはやめよう



エンジンがかかったらすぐに出発しよう

9 不要な荷物はおろそう



重たい荷物や不要な荷物は減らしましょう

7 渋滞を避け、余裕をもって出発しよう



ナビを使うこともエコドライブになります

10 走行の妨げとなる駐車はやめよう



駐車場所には気を配りましょう

エコドライブ普及連絡会 策定
環境省、国土交通省、国土交通省、国土交通省

8.次年度の取組の環境経営目標及び環境経営計画

	項目	実績事項	単位	基準2022年度	2025年度目標
1	二酸化炭素排出量の削減	・以下電力、灯油・ガソリン・軽油・都市ガスの使用量の削減に努める	kg-CO2	519,189 100%	503,613 97%
2	電力の使用量の削減 調整後排出係数 0.483kg-CO2/kwh 東北電力2022年度	・エアー漏れの対応作業 ・節電の徹底・周知 ・不要箇所の照明の消灯 ・使用していない機械の電源を切る ・PCの電源の省エネ	kwh	1,029,555 100%	998,668 97%
3	ガソリン・灯油・軽油・都市ガスの使用量の削減	・エコドライブの周知 ・使用エネルギーの把握	L	ガソリン 4,734 100%	ガソリン 4,592 97%
			L	灯油 3,751 100%	灯油 3,638 97%
			L	軽油 442 100%	軽油 428 97%
			m3	都市ガス 209 100%	都市ガス 202 97%
4	OA用紙購入使用料の削減 目標前年行動目標継続	・書類の簡素化 ・表裏印刷の推奨			行動目標
5	廃棄物の削減及びリサイクル向上 総排出量削減行動目標継続	・ゴミ分別の徹底・周知 ・産業廃棄物排出量の把握 ・マニフェストの管理・保管		74,670 100%	70,257 97%
6	一般廃棄物の削減	・分別の協力	kg	1,780 100%	1,726 97%
7	水道使用量の削減 総排出量削減行動目標継続	・節水への呼びかけ ・水漏れを水道メーターにて確認	m ³	695 100%	674 97%
8	社内不良の削減 目標前年実績10%削減	・経験が浅い技術者の測定技術向上の教育 ・工程外不良削減→次工程へ渡す際の測定の徹底 ・ヒューマンエラーの削減→誤読、思込み、入力ミス	件数	120 100%	102 85%
9	サステナブル調達の促進 推進行動	・リサイクル材 ・材料・メタル材等の廃棄及び取り代の見直し			実施
10	化学物質の管理 化学物質の適正管理	・シナー等の有害性の高い化学物質の ・使用場所・保管場所の管理			適正

基準2022年：2022年5月1日～2023年4月30日の値の合計値

9.環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果並び違反・訴訟などの有無

①環境関連法規一覧

環境関連法規への違反、訴訟等の有無について

1.環境関連法規、要求事項 抜粋

法規制等	適用条件	遵守評価
廃棄物処理法	・廃棄物適正処理	遵守
浄化槽法	・浄化槽の保守及び点検	遵守
フロン排出抑制法	・管理第1種特定製品の簡易点検	遵守
PRTR法	・特定化学物質の排出量/移動量の把握	遵守
消防法	・特定施設の届出(少量危険物貯蔵取扱)	遵守

※2025年4月23日付けにおいては、環境関連法規の遵守状況を確認し問題なし

②違反・訴訟等の有無

当社における環境関連法規への法令違反は、特にありませんでした。

10. 代表者による全体評価と見直しの結果

評価項目

評価項目	内容
1:環境関連法の遵守状況	・環境関連法違反は有りませんでした。
2:環境目標の達成状況及び環境活動計画の実施状況、その評価結果	増産傾向の中、軽油、産業廃棄物、社内不良の目標項目を除いて、概ね目標は達成できました。社内不良と廃棄物は結びついており改めて再発防止対策を徹底し削減に取り組まなければなりません。
3:問題点の是正処置及び予防処置の結果	・産業廃棄物のマニフェスト管理に課題が在りましたが改善しました。
4:外部からの苦情等の受付結果	・特になし
5:その他	・一般廃棄物の管理体制の追加

上記のとおり報告します

2025年5月30日 管理責任者:堀井工場長

代表者による評価・見直し等の指示

見直し項目	変更する必要判断	代表者による指示内容
1:環境方針	無	特になし
2:環境目標	無	特になし
3:環境計画	無	特になし
4:実施体制	有	書類作成のための事務局の増員
5:その他	無	特になし

代表者による総論

弊社ではエコアクション活動が2年目となりました。手探り状態の中始めた2年目でした、CO2削減に大きく繋げながら、環境経営と密接につながる電力実績使用量も社員の協力の下、改善できた点は非常に良かった点だと認識しています。引き続き課題点もありますので改善活動や周知活動を行いつつ、環境に対する社会的な変化に対応しながら引き続きその流れに応えるような企業を目指し本活動を続けていきます。